

PCSA アクションレポート（コスト問題研究部会）

令和 1 年 10 月版

第 167 回コスト問題研究部会

開催日時	令和 1 年 10 月 3 日（木） 午後 1 時～午後 5 時		
開催場所	TKP 上野駅前ビジネスセンター 6A		
出席人数	部員 6 名、賛助部員 8 名、正会員オブザーバー 2 名、賛助会員オブザーバー 1 名、合計 17 名		
出席者	<p><リーダー></p> <p>佐藤 千恵 株式会社セントラル伸光 営業部 課長</p> <p><サブリーダー></p> <p>宮村 伸輔 株式会社エルゴジャパン 常務取締役</p> <p><部員></p> <p>佐々木晃司 株式会社ニラク 店舗開発部 部長</p> <p>荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社 顧問</p> <p>峰元 勇作 株式会社ヒカリシステム チーム B リーダー 兼 市川駅前店 ストアマネジャー</p> <p>新井 弘光 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 企画開発部 係長</p> <p>原田 明光 株式会社三永 顧問・コスト管理担当</p> <p><賛助部員></p> <p>木島 剛太 日昭産業株式会社 課長代理</p> <p>園田 悦志 株式会社大商 関東統括支店 支店長</p> <p>小林 不二雄 株式会社ユーギシステム 専務取締役</p> <p>堀金 泰陽 グローリーナスカ株式会社 営業推進部 情報分析グループ サブマネージャー</p> <p>伊藤 真祐 株式会社 DMM.com 第一営業本部 アミューズメント事業部 渉外統括補佐</p> <p>青木 勇二 株式会社山宝商会 プロジェクト事業部部長</p> <p>古賀 新 株式会社インターコスモス 東京支店 支店長</p> <p><正会員オブザーバー></p> <p>松崎 吉文 株式会社ヒカリシステム データ・ドリブン GM 兼 マーケティングサポート TL</p> <p>小山内 勝 株式会社ヒカリシステム データ・ドリブン G システムサポート TL</p> <p><賛助会員オブザーバー></p> <p>対馬 健治 株式会社インターコスモス 東京支店 営業課長</p>		

1) プレゼンテーション「キュービクル(高圧受電設備)のご提案・自然災害を使った火災・地震保険申請」

プレゼンター： ハイブリッジコンサルティング株式会社 代表取締役 高橋 竜太 様
株式会社ピーアンドピービューロー 営業企画 太田 治 様

<キュービクル(高圧受電設備)のご提案>

プレゼンターより以下の説明があった。ホールのカュービクル(高圧受電設備)を買い取らせて頂くスキーム。ホール側のメリットは、「キャッシュが手に入る」「(キュービクルの)修理費用、保守管理がゼロになる」「安い電気料金(新電力と契約)」となる。買取したキュービクルを総合電商がキュービクル管理会社に更に売却。ホール側は、新電力会社 Marubeni 等と電気使用の契約を結んで頂く。まずはシミュレーションとして、最初に電気料

金の年額を出していただき、コスト削減を検討していただく。基本的には 15 年契約となる。現在、新電力のご案内をしている会社の場合は、電力費用だけの削減となるが、当社は保安管理費とキュービクルの維持費用を削減できる。なお、契約は、期間は 15 年、15 年後に再契約は可能。また、途中解約では違約金を支払う事になる。

<質疑応答>

Q：4 つのメリットの最後の「安い電気料金」が、逆にネックになってくる。現在は、更に電気料金が安価になっている。

A：このスキームの 1 番のメリットはキュービクルの修繕費で、そのリスクを取らなくて済む。

> 15 年契約で考えると、300 万円の差額は、そこまでのメリットとは言えない。このスキームから新電力の契約を切れればメリットになる。

> 新電力の契約を含めてのスキームとなる。

Q：新電力会社は Marubeni 以外にあるのか。

A：他新電力も検討中。

Q：当社はすでに Marubeni と契約しているが、このままの契約でいけるのか。

A：既存の取引とは異なるプランに再度契約しなおすことになる。

<自然災害を使った火災・地震保険申請について>

プレゼンターより以下の説明があった。東日本大震災による地震保険申請において、600 物件以上で 4 億円以上の実績がある。過去の自然災害の被害から保険金を捻出できる。火災保険加入者の約 9 割が火事以外では保険金をもらえないと思っている。また、地震保険でも倒壊しないと保険金をもらえないと思っている。しかし、そうではない。豪雨や雪による雨どいの変形や、台風による外部通風孔のカバーや管の陥没、室外機のフインの傷などで保険金を頂くことが出来た。なお、このコンサルティング業務で他社は成功報酬額 50%だが、自社は 30%となっている。完全成功報酬。しかも調査は無料で保険金がない場合は無料。

2) 企業トピック「Office365 から Google へ」

説明者：株式会社ヒカリシステム データ・ドリブン GM 兼 マーケティングサポート TL 松崎 吉文様
株式会社ヒカリシステム データ・ドリブン G システムサポート TL 小山 内勝様

説明者より以下の説明がされた。

<オフィス>

オフィスはマイクロソフトの製品群の事。ワードやエクセル、パワーポイントが有名。オフィスは、買い切り型のパターンとオフィス 365 というクラウド契約型の 2 パターン。公社は、月額や年額での支払いをしていく。オフィス 365 にはビジネスエッセンシャル、ビジネス、ビジネスプレミアムなどのパターンがあり、PC にインストールせずに使用できるなどのメリットがある。なお、法人グループウェアやクラウドストレージも使いたい場合には、買い切り型ではなくこちらのクラウド型が選択肢に上がる。一方、各種ソフトの買い切り型利用ではランニング費用が発生しないのがメリット。なお、今後も大きなシェアを持ち続けると考えている。また、クラウド版のオフィス 365 では、1 ユーザー月額 540 円から始められる。更にクラウドストレージが利用可能で端末の変更に強い。次にデメリット。端末の入れ替え時に再度インストールの手間がかかる。また、セキュリティ対策が個人レベルになる。これが法人としては最も大きなデメリット。また、使うアプリが限られている。次にクラウド版の月額課金では、ランニングのコストが発生する。サービスをフル利用すると 1360 円が月額。更にメール容量が有料でも 50GB に制限される。（会場に、クラウド版の利用者は皆無）クラウド版でのメリットは共同編集、自動保存が可能。クラウドストレージへの自動保存。一方デメリットは、インストール版との互換性が 100%ではない点と、元に戻す機能が使えない。

<グーグル>

次にグーグル。G スイートと呼称。元は検索エンジンだが、多数のアプリが含まれている。テレビ会議の meet、無料アカウントやアカウント無しでも使用可能。WEB カメラ付きノートパソコンがあれば使用可能。次にクラウドストレージの Drive。アップロードすると自動で OCR がかかる。名刺をアップロードすると、名前で検索して見つけれれる。また、資料の検索は非常に優秀。次に表計算のスプレッドシート。ほぼほぼエクセルと同機能。ブラウザで使用可能で、共同編集が可能。エクセルとの完全互換性をうたっており、スマホでの編集も可能。他にも、ワードにあたる Docs、メールの Gmail、site、アンケートの Form。有料版では独自ドメインでの運用も可能。更に容量無制限となる。更に検索にはめっぽう強い。Gsuite の優位性は、クラウド上での操作や共同編集が楽になる。そして、初期導入が安く早い、かつデータサーバー運用が保守の更新や確認などの管理が可能。最後にセキュリティレベルに関しては、データの閲覧や資料作成、編集などの履歴がすべて確認できるため、監査が非常に楽になる。

<オフィスとグーグルの比較>

Gsuite のベーシックプラン、¥ 800/月。オフィス 365 は ¥ 1080/月。メールのホスティングでは独自ドメインが使える Gsuite が優位。オフィス 365 は、¥ 1630/月のプランから使用可能。また、音声会議、ビデオ会議、共有カレンダー、アプリケーション、デバイス、OS 互換性でも Gsuite が優位。オフィス 365 は、¥ 1630/月で、対応可能。ただしクラウドストレージでは、Gsuite は 30GB、オフィス 365 は 1TB とオフィス 365 の方が優位。なお、サポートは共に電話とメール 24 時間対応だが、Gsuite の方が対応可能な時間が多いと感じている。まとめとして、Gsuite の方が割安。なぜならグループウェアとして必要なソフトが揃っている。また、オフィス 365 の使用制限 5 台は、意外と壁になる。あつという間に使い切ってしまう。

Gsuite は、Basic¥680-、Business¥1360-、Enterprise¥3000-となっている。30GB の容量に問題が無ければビジネスで十分。

<質疑応答>

Q：サイボウズを 3 年使っているが、使い慣れると切り替えが大変。切り替えのトラブルはなかったか。

A：当社も以前はサイボウズを使っていた。最初は、スプレッドシートとメーラーを使って、次にスケジューラー。スケジューラーは、最初見た目が異なっていた為に苦情が出たが 2～3 か月で慣れてきた。逆に使いやすさが分かってきた。スケジューラーとメールとの連携などをシステム担当から周知をして、便利なところを教えていくことで定着してきた。なお、サイボウズのサーバーが以前に吹き飛んだ事がありそれを契機に Gsuite に移った。

Q：社内でのトラブルに対応してもらえるのか。Gsuite で解決できるのか。

A：当社で相談を全て受けられる。

Q：当社で最近使い始めた。Meet で遠隔地の店長と会議を実施した所、同じ部屋に複数人数が同時に meetしていると反響などで会話が上手くできなかった。音声会議も同じ。

A：後発であるので、その点では専門アプリと比較するとやはり劣る。Youtube との連携が出来る、パッケージに入っているのがメリット。おっしゃる通り、音声の質は落ちる。なお、ハウリングに関しては、会議用の 10 人で使用できるマイクを 1 個だけ設置して対応している。

Q：多数の既存のエクセルやワードのデータを Gsuite にどう対応させるのか。

A：全てアップロードして、使用するものを開けば、順次更新、保存されていく。

Q：データは個人のフォルダ、法人のフォルダ？ どこに保存してあるのか。

A：社員全員がビジネスで契約、共用ドライブで無制限。そこに会社のデータをすべて入れている。

Q：ワークフローにあたるアプリはあるか？

A：純正ではないが、第 3 パーティがそれに準ずるアプリを開発している。

2) 喫煙ブース 現況アンケート 2019.7 について

当研究部会から、喫煙ブースの設置の際、警察や消防から指摘や注意を受けた店舗、その地域をアンケートする件を法律問題研究部会に依頼。法律問題研究部会が当アンケートを実施した。

<アンケート内容>

喫煙ブース設置済み 店舗名、店舗住所、警察 所轄名称、消防 所轄名称

Q1：設置済み設備の種別（喫煙ブース 喫煙室 その他）

Q2：設備を設置した際に提出した書類

Q3：設備を設置する際に、所轄、または消防に何か指示や注意などを受けたか

Q4：Q3 のケースがあった事例にどう対応したか

Q5：備考

<アンケート回答 概要>

- ・総回答社 6 社 ※内 4 社は設置店舗なし
- ・設置店舗有り 2 社
- ・総設置店舗数 7 店舗
- ・警察からの指摘や注意、留意点などが 3 店舗、消防からの指摘が 1 店舗あった。

<意見>

- ・ある店舗で、地上 1 m 以上の高さのスモークが使用禁止と言われた。貼るシートだったので剥がして OK が出た。
- ・50 店舗導入したが、大阪では、煙探知機を要望により設置した。扉付きなのか開放型なのかで対応が違い開放型の方が対応が簡易だった。また、北海道のホールに入れた際は変更承認申請だった。
- ・許可が下りるまでは営業ができないのか？
 > 喫煙ブースを使用する事が出来ない、という事。営業は可能。
- ・補助金は、外排気だけでなく内排気にも出るようになったが、東京都では補助金が出ない。兵庫県は、議会が条例を出して、外排気だけは大丈夫となった。
- ・兵庫県の構造上外排気に出来ない賃貸物件のホール。外排気の喫煙ブースから既存の空調ダクトに接続したが、強力に空気を流入されて他の吸入口から煙が出てきてしまった。そこで、内循環のきれいにした空気を空調ダクトに流すことで解決した。

3) 拡大コスト問題研究部会・ストアコンパリゾン in 大阪 2019.11 について

開催日：2019 年 11 月 19 日（火）～20 日（水）

<スケジュール案>

2019 年 11 月 19 日（火） <1 日目>

PM1：45 集合 南海電鉄 高野線 堺東駅 西出口 外※グランキコーナ堺店 最寄り駅

PM2：00 スストアコンパリゾン

① グランキコーナ堺店（60 分）

PM3：30 ② リッチウエル長居店（30 分）

PM4：20 ③ イルサローネ東住吉店（50 分）

PM6：00 スストアコンパリゾン 終了

PM6：30 or 7：00 情報交換交流会（新大阪駅 南周辺）（店舗 未定）

2019 年 11 月 20 日（水） <2 日目>

AM9 : 30 集合 JR 新大阪駅 御堂筋線 改札口 外
AM10 : 00 企業訪問、部会
訪問先：株式会社インターコスモス 本社
本社訪問・見学（10分）
コスト部会（1時間20分）
AM11 : 30 部会 終了
AM12 : 00 昼食（なんば 周辺）（店舗 未定）
PM1 : 00 ストアコンパゾン
④ マルハンなんば 本館（60分）
PM2 : 30 ⑤ ベラジオ西中島店（60分）
PM3 : 30 ストアコンパゾン 終了
PM3 : 40 JR 新大阪 解散

4) 次回開催

拡大コスト問題研究部会・ストアコンパゾン in 大阪 2019.11

開催日時：令和1年11月19日（火）～20日（水）

開催場所：大阪

※詳細は、「3）拡大コスト問題研究部会・ストアコンパゾン in 大阪 2019.11 について」をご覧ください。

以上